日本食品工学会編集委員会の活動

山　本　修　一

日本食品工学会編集委員会委員長，山口大学

日本食品工学会には編集委員会が常置委員会として設置されている．委員会の一番重要な任務は学会誌（日本食品工学会誌 Japan Journal of Food Engineering）の編集出版である．

第１巻１号を 2000 年に出版して以来，年間４号出版（初年度のみ２号）を継続しており，本号は第 21 巻３号である（印刷版 ISSN:1345-7942，オンライン版 ISSN:1884-5924）．

一般に学会誌は，以下の役割を担っている．

1) その学会の専門分野の査読論文（peer-reviewed paper）を掲載することにより，学会の関与する専門分野の深化・発展への貢献
2) その学会会員への有用かつ最新の情報提供（解説論文・記事等）
3) その学会の行事・活動情報提供
4) その学会および関連学協会の情報提供（行事案内等）

1）の論文数が多い学会では，論文誌として別に出版していることも多いが，日本食品工学会誌は，1）-4）をすべて掲載している．会員は，すべての内容を読むことができるので便利であるが，最近の学術論文の評価システムからは，少し複雑な問題を抱えることになる．

査読付き学術論文は，国際的なデータベースに搭載（インデックス化）されることで，その論文の情報（価値）が広範かつ迅速に伝わることになる．また，大学教員は，そのような雑誌に掲載された論文を高く評価されるシステムに拘束されている．データベースに搭載されるためには，さまざまな条件が必要となる．例えば，和文の論文でも，図表および引用文献リストの完全な英語化，および英文要旨・題目などである．日本食品工学会誌の投稿規定・投稿の手引きでは，これら完全英語化ができておらず，古い論文を見ると引用文献に日本語の論文がそのまま掲載されている．一方で，2）のカテゴリーではすべてを英語化するよりは，日本語のままのほうが多くの会員にとって有用である．

そこで，2016 年の第 17 巻第２号から，雑誌の構成を査読付き論文と，それ以外を分けることにし，査読付き論文のみに通し頁数を付加することにした．査読付き論文は J-STAGE で公開，それ以外は日本食品工学会のサイトで公開した（査読付き論文の J-STAGE も学会サイトにリンクされている）．

現在 どちらのサイトもフリーにアクセスできる．学術論文については，これらはオープンアクセス（open access，OA）と呼ばれる．世界的には，学術論文は公的財産であるという考えが一般化してきており，論文も OA 化されていく方向である．ただし商業誌では OA 化のためには著者が高額な APC（article processing charge，論文出版加工料，論文掲載加工料，論文処理費用，等と訳される）を負担しなくてはならない．APC は 20～30 万円程度が一般的であるので，APC が平均３万円程度の日本食品工学会誌は世界一安価な OA 雑誌であろう．

なお，日本食品工学会誌は最初から OA 雑誌として出発した訳ではなく，さまざまな議論を重ねて 2014 年６月からから J-STAGE での OA 公開を開始した．すべてのバックナンバーの公開は 2015 年６月に完了した．なお，それ以前に，第１巻から第９巻までは，JST がアーカイブ化事業により画像化して公開している（2009-2010）．

現在までの，会誌の掲載数の変化を図１にまとめた．原著論文，技術論文，ノートと解説･総説論文の合計で，年間 20 報程度である．海外からも年間 5～10 編の投稿があるが，残念ながら掲載に至る論文が少ないのが現状である．今後は，会員からの投稿と，国内および海外からの優秀な論文の投稿を増やす方策を考える必要がある．

日本食品工学会誌には「投稿規定」と「原稿執筆の手引き」以外，倫理規定に関するものがなかったので「日本食品工学会誌の投稿ならびに出版に関する不正行為防止のためのガイドライン」を 2018 年に策定した．これからも必要な規則・規定を整備していく予定である．

査読付き論文と，それ以外をわけて掲載することにした 2016 年から，解説記事等の充実を図り，可能な限り小特集を組んできた．図１に示すように解説記事等

著者略歴

山本修一（Shuichi YAMAMOTO）

1976 年　京都大学農学部食品工学科卒業

1981 年　同大学・大学院博士課程修了後、山口大学工学部助手，助教授を経て 1998 年より教授

2006 年　医学系研究科専攻

2014 年　山口大学生命医工学センター（YUBEC）センター長　（併任）

2016 年　創成科学研究科

2019 年より 教授（特命）

© 2020 Japan Society for Food Engineering

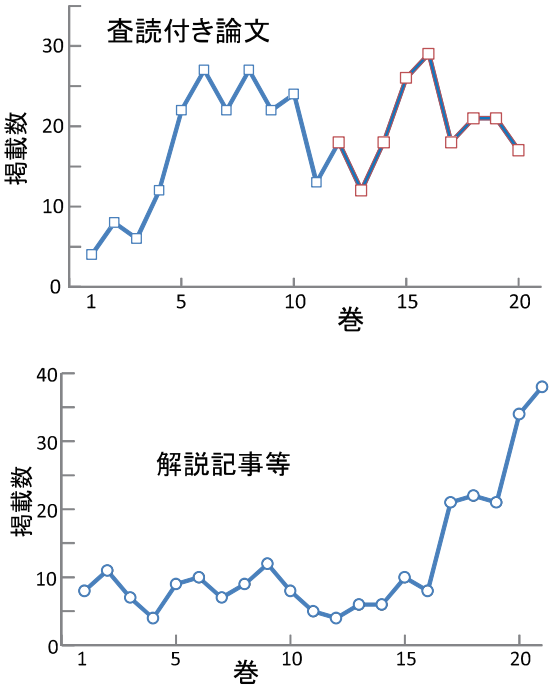


図1　掲載数の変化

の掲載数は年間20編程度である．

学会誌以外の編集出版活動を行う編集委員会は多いが，本学会では編集委員会は現在まで直接，「教科書」「便覧」の出版にはかかわっていない．

しかしながら，日本食品工学会著作権規程第3条では，

> 第3条　本著作財産権は，全てこの学会に帰属する．
> 2　本著作財産権は，本著作者がこの学会に対して本著作物を投稿・寄稿した時点をもって本学会に譲渡されたものとする．

とあり，本著作物は以下に示す第2条の(2)の①～⑥で規定されている．

> (2) 本著作物　以下のいずれかに該当する著作物をいう．
> ①日本食品工学会誌に投稿もしくは寄稿される，原著論文，技術論文，総説，解説，ノート，レター，その他の著作物
> ②この学会の年次大会における講演，口頭，ポスター，インダストリアルプラザの発表要旨原稿
> ③春季講演会，秋季講演会，その他この学会が主催もしくは共催する講演会，シンポジウム等における講演要旨原稿
> ④この学会が編集，編纂する書籍等出版物に掲載される著作物の原稿
> ⑤この学会が運営・管理するウェブサイトに掲載される著作物
> ⑥その他，①から⑤に類するものであって，この学会が指定するもの

②の年次大会要旨集も，現在は参加者以外がアクセスすることはできない．各種講演会の要旨集やインダストリー委員会の出版物についても同様である．20周年事業として，これらの資料に会員が学会websiteでアクセスできるシステムを構築する予定である．

最後に，編集委員会が実施あるいは関与した重要事項を表1にまとめた．

表1　編集委員会関連重要事項

年	項　目	編集担当	出版社等
2000	日本食品工学会誌　創刊	編集委員会	日本食品工学会
2006	「食品工学ハンドブック」　出版	日本食品工学会	朝倉書店
2009	「ほんねで語るモノづくり―食品エンジニアのひとり言」　出版	インダストリー委員会	食品化学新聞社
2010	「使ってみよう！この技術」　出版	インダストリー委員会	日本食品工学会
2014	日本食品工学会誌　J-STAGEにてOA公開	編集委員会	J-STAGE*
2012	「食品工学」　出版	日本食品工学会	朝倉書店
2016	第17巻からJ-STAGEで査読付き論文公開，他は学会websiteで公開	編集委員会	J-STAGE http://jsfe.jp
2020	「続・使ってみよう！この技術」　出版	インダストリー委員会	日本食品工学会
2020	「食品製造に役立つ食品工学事典」　出版	日本食品工学会	恒星社厚生閣
2021	会員向け電子アーカイブ開設	編集委員会	http://jsfe.jp

*J-STAGE 文部科学省所管独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム

© 2020 Japan Society for Food Engineering